

自然体験活動 安全対策クイックマニュアル



自然体験活動を安全かつ有意義なものにするために、団体指導者の方の理解と協力が必要です。

- 内容と目的の共通理解
- 研修生への事前指導の徹底（目的、ねらい、安全）
- 研修生の人数、健康状態の把握
- 引率指導者の役割分担

自然体験活動を安全に実施するために

自然体験活動が安全かつ効果的に実施されますよう、団体指導者の方は事前にコースの下見、事前準備及び研修生への事前指導をお願いします。

野 外 活 動	・サイクリング ・ウォークラリー ・オリエンテーリング ・ハイキング ・グループワークゲーム ・ナイトウォーク
水 辺 活 動	・かに釣り ・魚釣り ・湖岸の生物観察 ・生物探しゲーム ・いかだ体験 ・着衣泳
レクリエーション活動	・キャンプファイヤー ・キャンドルセレモニー ・グラウンドゴルフ ・マレットゴルフ

〔活動当日までの流れ〕

入所 40 日前までの準備



事前打合せ後の準備



入所後の打合せ (入所時 or 活動前夜)



活動前の打合せ (実施直前)

- ① 実施目的や、ねらいを明確にする。
- ② 活動時間、学年や年齢、身体的条件等を考慮してプログラムを設定する。
- ③ 所員と事前打合せを実施する。(利用日の 40 日前まで)

- ① プログラム実施に応じた団体指導者の配置や役割分担を決める。
- ② 事故や怪我等に備えた連絡体制及び連絡網を確認する。
- ③ 研修生への事前指導及び事前学習を行う。
- ④ 活動エリア及びコースの下見を行う。(必須)

- ・ 研修生の出欠及び体調の確認、活動名簿（カタカナ記入）を提出する。
- ・ 団体指導者の配置、役割分担を確認する。

- ・ 担当所員が作成した活動事前チェックシートを基に、気象や活動についての打合せを行う。
- ・ 研修生の出欠や健康状態を把握する。

【お願い】

- ・ 事前に必ず活動エリア及びコースの下見を行ってください。
- ・ プログラムの詳細はプログラムガイド（事前打合せ時配布）をご参照ください。
- ・ 事前打合せの際は、『青少年教育施設を利用する教職員（団体指導者）のための利用者ガイド』をご活用ください。
- ・ 入所前に各団体にて保険の加入状況等の確認をしてください。

天候による活動中止基準 (浜松市南部に発表)

- ① 警報：すべての活動は中止
- ② 注意報：右表を参照
- ③ 以下のような気象変化が予想される
 - ・急激な風速上昇、突風の発生
 - ・雷雲の発生
 - ・雨量の急激な増加
- ④ 竜巻発生注意報が発表されている
- ⑤ 光化学オキシダント注意報が発表されている
- ⑥ 南海トラフ (注意情報以上)、津波 (注意報以上) に関する情報が発表されている
- ⑦ 観天望気による天候の急変が予想される

		野外活動	水辺活動	レク活動
大雨注意報	降雨 (20mm/s 以上)	中止		
	降雨 (20mm/s 以下)	短縮・変更・中止		
	降雨が確認されない	気象に注意し実施		
強風注意報	平均風速 10m/s 以上	短縮・変更・中止		
雷注意報	活動度 2、雷鳴が確認	中止		
	活動度 1 以下	気象に注意し実施・短縮・変更・中止		
濃霧注意報	1000m 先が確認できない	中止		
	1000m 先が確認できる	気象に注意し実施		
高潮注意報	活動場所が水没	—	中止	—
	活動場所が水没の恐れ	—	短縮	—
波浪注意報	湖岸に波しぶきがある	中止		
	湖岸に波しぶきがない	短縮		
気温	35℃以上 (熱中症指数 WBGT 31℃以上)	中止		
	10℃以下	気象に注意し実施・短縮・変更・中止		

(例示)

【危険が近い】

- ・付近の山 (天竜から引佐、三ヶ日方面) に明るいグレーの入道雲が発生する。
- ・梅雨時に東風が吹く。

【危険度が高い】

- ・真黒な雲が近づき周囲が暗くなる。
- ・ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。

【気象情報について】

事務室前の総合案内横の掲示板に、最新の気象情報及び発表中の警報、注意報を掲示しています。
また、活動前の打合せにて気象情報の確認をします。活動中も気象確認を行い、天候の変化に対応します。

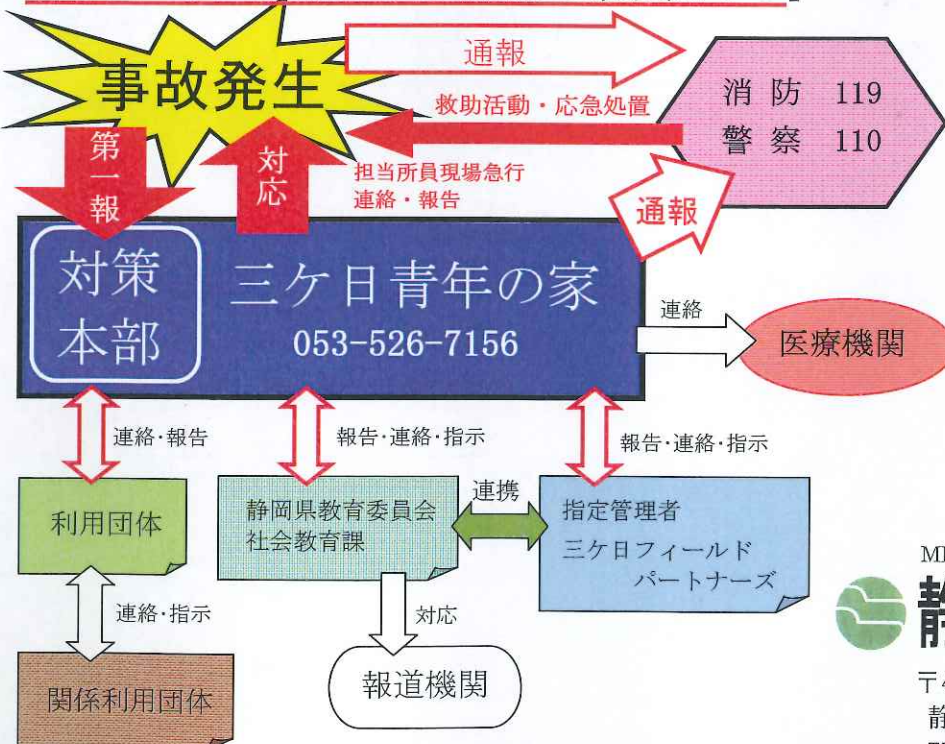
困ったときは・・・

交通事故・・・すぐに警察(110番)へ連絡、救急車(119番)を要請し、状況を事務室へ連絡する。
怪我・体調不良・・・事務室へ連絡後、必要に応じて病院へ搬送、または青年の家医務室へ搬送する。
迷子・・・事務室へ連絡後、所員と捜索。状況に応じて青年の家と協議し、警察へ連絡する。
落雷・・・研修生を集め、建物内へ避難する。(青年の家、避難場所) 点呼後、事務室へ連絡。雷雲が去るまで活動は中断する。
地震・・・ブロック壁や落下物から身を守る。研修生を集め、青年の家または避難場所へ移動する。点呼後、事務室へ連絡する。

緊急時対応図

緊急時も落ち着いて連絡・行動をする！

「研修生の安全確保と人員確認を最優先！！」



緊急時連絡先

聖隷三方原病院 (総合・24時間)	053-436-1251
三ヶ日中央外科 (内・外・小・整)	053-524-1481
市立湖西病院 (総合)	053-576-1231
クロヤナギ医院 (内・整)	053-524-1000
縣医院 (内・小)	053-526-0120
みかえ内科 クリニック (内)	053-526-0500

MIKKABI YOUTH CENTER SHIZUOKA.Pref

静岡県立三ヶ日青年の家

〒431-1402

静岡県浜松市北区三ヶ日町都筑 523-1

TEL (053) 526-7156 FAX (053) 526-0665